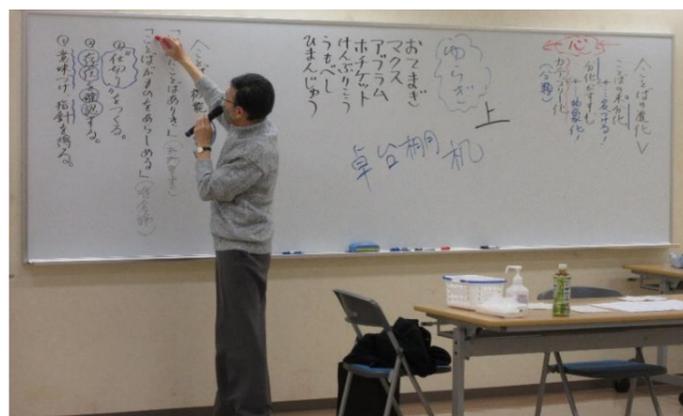


R4年度 とよたシニアアカデミー通年コース 文化工芸学科 * * * 1月の講座紹介 * * *

今月の講座のテーマは「日本語の豊かさ」です。名文を味わいながら物と言葉のデリケートなつながりを理解したり、「偏愛マップ」作りを通して自分と向き合う体験をしました。頭をフル回転して考えましたね！

1月18日、25日(水) 日本語の豊かさ①②



国語の授業を思い出します…



講師：樹神 基之 氏

「偏愛マップ」づくりに挑戦！



自分の好きなことを沢山書き出しました



何気なく使っている日本語だけど、気をつけて使いたいですね



真剣に講義を聴く受講生たち

テーマ

1回目
「ものことば」

2回目
「仕切りの功罪」



ジャンルごとにまとめると何かが見えてくるかも…



学生の感想 (抜粋)

<2回目>・日本語の仕切りの功罪として、言葉の使い方によって意味が変わること、誇大表現は危うい、言葉の黒魔術、言葉は弓矢に似ている事を学んだ。今回の講座を機に、新聞、TVのニュースなどで使われる言葉の裏にある意味や考えを理解するように努めたいと思った。これからは本や新聞を読むことが楽しみになった。

・言葉の言い方や読み方で意味が違ってくるので、気をつけて使おうと思った。偏愛マップは、仲間と共有して、共通の話題を見つけて盛り上がった。

学生の感想 (抜粋)

<1回目>・漢字の読み方の多様性について学び、日本語の奥深さを再認識した。現代において、忘れられて置いてきぼりにされた言葉に関する多くの事柄を思うと、守り伝えて行く事は何か考えてみた。

・昔の小説の自然の情景に対する表現は実に美しいと思います。感性の豊かさは、日本人の国民性でしょうか。

・母国語である日本語について日常ではあまり意識することなく自然に使っているが、実に意味深いこと、生活や人生そのものであることに気づきました。グローバルな社会においては、母国語の重要性はますます高まります。文化、歴史の源である言葉を大切にしたいと思います。次回の講座も楽しみです。



出来上がった「偏愛マップ」を仲間と共有しました

